

ICTを活用したアクティブ・ラーニング型 授業デザインシート

平成28年11月8日(火)
清水桜が丘高校

アクティブ・ラーニングの型	ケースメソッド型アクティブ・ラーニング		授業者	曲田 雄三	
教科・科目	商業・広告と販売促進	設定時数	5時間 3/5時		
単元	店舗の立地	授業集団	2年商業科 選択科目(30名)		
本時全体の目標	地域の消費者にとってふさわしい店舗立地を明確にし、実際に最寄品、買回品、専門品を扱う店舗に分かれて出店戦略を議論していく中で、商品の種類によって店舗立地、出店形態等の条件が変化していくことを理解していく。				
学習内容	本校の生徒の特性を踏まえた各学習内容における主な目標(身につけさせたい力・姿勢)	左記の力・姿勢の「学力の3要素」への分類	左記の力・姿勢を育むための指導内容	教師による発問・働きかけの内容 ICTの利用	教師が特に観察・配慮すべき点
各店舗の立地戦略の具現化、明確化をする。(ブレインストーミング)(KJ法)	自分自身の意見を主体的に発言する力	1 主体性 1 学びに向かう力 2 知識・技能	ブレインストーミングを用いてそれぞれの店舗においてのふさわしい立地条件について意見を考える。	個人の考えを5分間時間をとりながら考えさせる。 ブレインストーミングの注意 1 質より量 2 自由奔放 3 批判厳禁 4 連想と結合	自分の考えが出やすいような発問方法をとる。
	他の意見をまとめる力	1 協働性 3 思考力	KJ法を用い、出された意見を基に、理想の立地とはどう在るべきなのかをまとめていく。	グルーピングがスムーズにすすむことができないグループにはアドバイスをを入れていく。	グルーピングの進行度。
	意見をまとめながら自分なりの考えを持つことができる力	3 判断力・表現力	まとめられたものを見ながら「理想の立地条件」に対しての自分なりの考えを持たせる。	まとめられた意見を基に、柔軟な発想が大切であることを伝える。	出店計画につながるようにまとめていく。
立地戦略を考慮しながら出店計画をたてる。	仲間と協力して問題を解決する力	1 主体性・人間性 2 知識・技能 3 思考力・表現力	その店舗を出店するためにはどのような地域に出店すべきなのかを議論する。(出店戦略)	タブレットを用意しておき、まとめていく中で必要があれば調べに使用する。 ・静岡市ホームページ ・グーグルアース	議論に参加していない生徒へ参加を促す声かけをする。
	問題解決能力	3 思考力・判断力・表現力	立地戦略の内容を基に「出店の必要性」を検討し、どこに立地し、どのような店舗にすべきかを議論し、まとめる。	結論の根拠となるものが示せるように促す。	ここまでの授業のつながりが理解できていない生徒への声かけ。
「学力の3要素」についての説明					
1・・・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(主体性・多様性・協働性・学びに向かう力・人間性など)					
2・・・何を知っているか、何ができるか(個別の知識・技能)					
3・・・知っていること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)					